

2022.11.10

株式会社市川環境ホールディングス

東京都の「令和4年度 プラスチック資源循環に向けた革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」実証事業に選定

当社グループ会社のエム・エム・プラスチック株式会社（以下、「MMP」という。）は、このほど東京都の「令和4年度 プラスチック資源循環に向けた革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」の実証事業に採択されましたのでお知らせいたします。

現在、プラスチックのリサイクル分野はプラスチック資源循環法に基づく施策の実行や、東京都の「プラスチック削減プログラム」での革新的な技術・ビジネスモデルの導入促進等による2030年目標の達成に向けた政策が掲げられておりますが、特に、オフィス・商業施設などから排出される事業系プラスチックなど（以下、「オフィスプラ等」という。）については、RPF化や焼却処理が主流となっています。

本事業は、東京都とともに共同で行う実証事業として、プラスチックのマテリアルリサイクル事業を先駆的に営むMMPが代表事業者となり、都内で多くのオフィスビルを管理している三菱地所（株）、三井不動産（株）、東急不動産（株）などの排出事業者が連携・協力し、環境省の助言を得ながら、PwCアドバイザリーのサポートも受けて、CO₂削減に資する新たな資源循環事業モデルの構築を通じてリサイクル率の向上などの2030年政策目標の達成に向けて貢献していくものです。

市川環境グループは地球環境貢献企業として、本件を通じて資源循環社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【本事業概要】

- 1) 事業名称 東京版オフィスプラ等の新たな資源循環モデル
- 2) 目的 新たな資源循環モデルに係る課題の検証とソリューション特定を通じ、オフィスプラ等の再資源化・製品化のための新たな資源循環モデルを構築する
- 3) 実施期間 FS調査：2022年11月～、実証事業（予定）：2023年4月～

（代表事業者 会社概要）

エム・エム・プラスチック株式会社

代表者 ： 森村 努
所在地 ： 千葉県富津市
設立 ： 2006年



事業内容 : 容器包装プラスチック及び産業廃棄物系プラスチックの再商品化事業、再商品化製品（再生プラスチック原料）を利用した物流パレットの製造・販売

<施設能力>

容器包装プラスチック：27,000t/年

産業廃棄物系プラスチック：18,000t/年

パレット生産枚数：年間10万枚

※増設計画あり（製品プラスチック対応可）

<本件に関するお問い合わせ>

エム・エム・プラスチック株式会社

担当：森村（もりむら）

Tel：0439-80-4877

株式会社市川環境ホールディングス

担当：飯田（いいだ）、滝（たき）

Tel：03-5540-4220